自立
創意
連合

バリケード

早大 自学行動戦線 機関紙

No.3

煽動部 発行

長い休日の後で—

今日と日，我々の長い休日は新たな地点に到達した。今，何を考え，何をなすべきか？

学術—研究室は学術問題をめぐりての革マル支配との闘取引きの形態する中，各々対向き直り，「革マルとの本質的な革命はない。大学は誰とでも買って話しあう用意がある」（4/21 "Waseda Weekly"）と「真青好みの民主的ポーズをとりつつ，一方では「本部を占拠した学生には多数外（部隊なども）であり，革マル・真青どのセクト争いのための本部を不法占拠したのだ」などと悪質なデマを流している。このもくろみは一般学生と学内（自学同，真青）と占拠学生との間に緊張，流血事件を起こす危険なあるとしたヘリクツをくっつけて，現無数のロックアウト・機動隊導入（どちらも敵）を公諸氏はあちこちの地下カーテル内で迷いこんだ（ガ）をやってのけたのだ。ギャンゴスに無人の取材を，学生にはゴールデンウィークなら女イアモンドウィークを，と言う訳だ。

しかし何考えよう一明治山の長い休日の明けよりでは何があったのだったのだ！ それは（自分にとって本部占拠とは何か）と学生一人一人が自らに問いかける行為ものとのではなかったか？ 時間の猶予を与えず，（セクト間抗争の犠牲なるデマと脅迫の中から（本部占拠）をとり出さねばならない。日ザ＝真青，自闘＝一般学生」の諸言の様に「本部占拠は学内の問題」という二者択一的な問題の立てかたは，明治山と全く同じレベルの問題であり，現実論的なアリバイ的考えである。問題は（本部占拠）という現象を生出せしめたもの，その根拠・必然性である。我々は現在本部占拠を再度続行しているこの諸問題とは多くを共有する者ではないことを自の当りと言ってかねばならない。このことを前提とした上で（本部占拠）をとらえなおすならば，それは一体何か？ それは学術斗争のもっとも斗争・人性争闘化され，管理社会の近代化の一要素として教育の中に埋没させられることへの抵抗宣言であった。（学術）内学長の座う場所へはぶち出された。我々はこれをどうするのか？ 到達点に新たな，あらゆるクラス・サークル・クループで（学術）を討論し，手作りの斗争組織を立ち上げよう！ 5/6 集会を学術斗争の新たなる出発点として，「民主的」な明治山の機能麻痺を踏まえ，しかし無知の無恥・怠惰を批判する集会としてかちとろう！

ハンの下に空虚を感じる（長い休日）終ったのだ！ （文責 E）

対機動隊導入・ロックアウト粉砕！

明治山管理体制粉砕！

中教審答申＝大学法粉砕！

学術斗争勝利！ 全国学園斗争勝利！

戦斗への招待 パンフ刊

・中間総括 ・文化革命としての学術斗争

との他

Act 自学行動戦線機関誌

ナタ化誌

準備中